

事前質問	EVTOL の Regulation、JCAB, FAA (Powered-Lift / Part 21.17b) , EASA (SC-VTOL) を Advisory Circular や Means of Compliance を含めて横並びで比較したものはあるか。または作成する予定はあるか。
------	--

➤ **PwC コンサルティング 杉原 回答**

eVTOL に関する機体の要件等については、月次レポートや第 3 回の意見交換会で一部取り上げているが、横並びで比較したものは作成していない。今すぐ作る予定があるというわけではないが、今後 NEDO と協議し、必要があれば取り組んでいきたい。

会場からの質問	現在の活動は、難解な仕様書等を分かりやすく整理・解説する点で有意義であると思う。今後の活動内容は NEDO の予算にも左右される可能性があると思われるが、今年度で活動が終了した後、今後の環境変化を踏まえ、どのような活動を継続・展開していく予定かを伺いたい。 AI を活用し、関連情報を集約した基盤に対して利用者がエージェント経由で容易にアクセスし、必要な情報や回答を得られるような仕組みが実現できれば有用と考える。プロジェクト終了後の活動方針について伺いたい。
---------	---

➤ **PwC コンサルティング 杉原 回答**

重要なご指摘であると認識している。直近の取り組みとしては、業界関係者や官民の関係者を招いたクローズドな意見交換会を開始しており、今後の規制の在り方や海外有識者の知見を踏まえた議論を進めているところである。今後は、こうした取り組みについても、個社事業の中で可能な範囲でオープンにしていけることが一つの方法であると考えている。

また、AI 活用については、ニュース収集等の分野で社内トライアルを開始しているところであるが、現時点で公開可能とするかは未定である。今後は AI を活用した世界へ移行していくとの認識の下、人力で収集した情報よりは、AI で収集した情報を選別・整理したうえで公開する情報発信プラットフォームもあり得ると考えている。なお、NEDO の予算関連を踏まえた今後の動向については回答が難しく、後ほど NEDO から説明いただくのが良いかと考える。

➤ **NEDO 平山様 回答**

本プロジェクトは国家プロジェクトであり、社会実装に向けた実現プロジェクトとして位置付けられているため、プロジェクト終了後は各実施者において事業化に向けた取組が進められるものと認識している。ロードマップでも説明したとおり、社会実装はなお途上にあることから、何らかの国からの支援が期待されている状況であると理解している。現時点で、具体的に何を実施するかについて確定的に示せるものはないが、今後どのような支援が可能かについては、引き続き経済産業省とともに検討していきたい。

会場からの質問	Part 108 について、従来のように機体メーカーが自己適合宣言を行うものではないとの説明があったと理解しているが、具体的にどのような形となるのか伺いたい。従来とは異なる方式であるならば、別の方法が想定されているものと受け止めたため、その点を確認したい。
---------	--

➤ **PwC コンサルティング 杉原 回答**

従来は、第三者認証を通じて機体の安全性について第三者の証明を受ける方法が採られていた。一方、Part 108 案の Airworthiness Acceptance においては、機体メーカーが当局から示された Means of Compliance に基づき、講じた対応内容や裏付けとなるデータを提示し、その内容について当局に認めてもらうという形となる。そのため、当局が飛行試験に継続的に立ち会って監視することや、製造ライン全体を確認することといった従来型の認証とは異なる点が大きな特徴である。